

しらかわ音楽の祭典
音楽のチカラに感動!

11月4日、「第16回しらかわ音楽の祭典」が市民会館（手代町）で開催されました。第1部では、小・中学生、高校生、一般団体による合唱・合奏が行われ、各団体が日頃の練習の成果を披露しました。

第2部の「大谷康子弦楽四重奏団」によるコンサートでは、古典からラテンまでの魅力的な演奏に会場は感動に包まれました。また、市民の方と市職員で編成された特設合唱隊がプロの演奏にあわせ、市民歌とふるさとを熱唱しました。



▲大谷康子弦楽四重奏団の演奏にあわせて歌う特設合唱隊

東北都市景観協議会
本市で景観形成の意識を高める

東北地方の良好な景観の形成を図るため、東北6県の94市町村と国や各県の協力機関で構成される「東北都市景観協議会」が、10月24・25日の2日間、市立図書館（道場小路）で開催されました。

会では、国土交通省から景観に関する話題提供や日本大学教授の若井正一氏による基調講演、本市の小峰城跡や歴史的風致形成建造物などの歴史文化資源の視察が行われ、参加者は意見を交換しながら、より良好な景観形成に向けて、意識を高めました。



▲小峰城跡で石垣復旧の状況について説明を受ける参加者

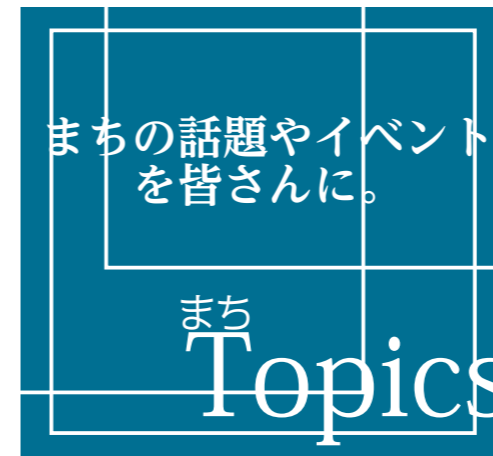
戊辰東北戦争から復興を学ぶシンポジウム
復興へ向け、白河口の戦いを検証

11月18日、全国モーターボート競走施行者協議会の助成を受け、「戊辰東北戦争から復興を学ぶシンポジウム」がホテルサンルート白河（新白河駅前）で開催されました。

歴史作家・中村彰彦先生の基調講演「白河から明治維新へ」や、「明治の先人に復興を学ぶ」をテーマにパネルディスカッションが行われ、会場に集まった多くの歴史ファンが話の内容に興味深く耳を傾け、共感する姿が見られました。



▲パネルディスカッションの様子



▲esさんの迫力あるステージ

がんばるぞ！白河 食と職の市
白河の美味しいものと伝統の技が一堂に集結

10月27・28日の2日間、J R白河駅前イベント広場と市立図書館（道場小路）で「がんばるぞ！白河 食と職の市」が開催されました。

「食」の会場では、白河地域等の飲食店ブースが多数並び、来場者は各店の味を堪能しました。「職」の会場では、模擬上棟式が行われ、まき銭や餅まきなど昔ながらの上棟式に多くの人が集まりました。こけら落としとなった白河駅前イベント広場では、Yammyさんやesさんのステージイベント、ダンスや太鼓演奏などが繰り広げられ、盛り上がりしました。

また、28日には市公設地方卸売市場（五番町川原）で「市場開放デー」も開催され、早朝から大勢の方が詰め掛けにぎわいました。



▲あわせて開催された職業体験イベント「ぼくらは職業体験隊」で美容師の仕事に挑戦

(株)アイ・ディー・イーが本市で操業
浪江町の企業を本市が支援

原発事故で警戒区域となった浪江町から、新たに本市で操業することが決まった、(株)アイ・ディー・イー（草野泰治代表取締役）との土地売買契約締結式が11月15日、福島市で行われました。

同社は、ワイヤーハーネスの製造を行う企業で、新白河ビジネスパークで、来年春に操業予定です。

草野社長は、「浪江の人たちに勇気を与えるためにも白河の地で頑張っていきたい」と話していました。操業開始時には30人の雇用を予定しています。



▲左から、森谷県企業局長、草野社長、鈴木市長